

過去問演習の効果がアップする「赤本ノート」が新登場！ 「センター試験用」「個別試験用」の2種類を同時発売

「大学入試シリーズ」（通称“赤本”）でおなじみの教学社（京都市左京区）は、2014年10月29日、受験勉強に欠かせない過去問演習の効果がアップする「赤本ノート」を、全国の書店で発売します。



「センター赤本シリーズ」、「大学入試シリーズ」に対応

ラインナップは「センター試験用」と「個別試験用」の2種類。それぞれ、教学社発行の「センター赤本シリーズ」全13点、「大学入試シリーズ」全530点に対応しています。

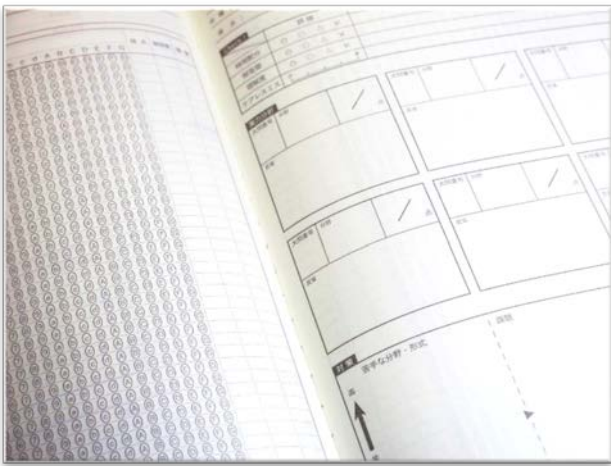


埋めるだけで入試の傾向が把握でき、「自分だけの対策」がたてられる学習ノート

赤本ノートは問題を解いたりマークシートの練習ができたりするだけではありません。フォームを埋めるだけで傾向が把握でき、さらに自分の弱点・課題を浮き彫りにすることができます。過去問を最大限に活用し、確実に実力をアップさせるための学習ノートです。

あらゆる出題形式に対応

ノートは見開き構成で、左ページで問題を解き、右ページで傾向分析・弱点の発見・対策の構築を行います。「センター対策用」の左ページは全科目に対応するマークシート解答用紙で、本番さながらの演習ができます。「個別試験用」の左ページは、グラフや図が登場する理系科目、文字がメインの文系科目など、どんな形式にも対応する方眼タイプのノートです。マスは 20 字×30 行で、小論文や論述問題にも最適です。



和田秀樹氏、絶賛!

『赤本の使い方』（ブックマン社）などの著書がある受験研究家、和田秀樹氏も、赤本ノートを活用して志望校対策をすることをすすめています。

私は、昔から、赤本を力試しである以上に、受験計画の基本書としてすすめてきた。

受験計画の本質は、過去問を通じて、志望校の出題傾向や合格最低点を知り、自分の現時点での実力と、その合格点とのギャップを、どのような形で埋めるのかである。また、志望校の出題傾向や出題科目、配点などを知ること、それにどうすれば最短で確実に届くかを検討すべきである。

この赤本ノートは、このような戦略的受験に便利なように、書き込むとともに受験計画の可視化ができる最良の受験ツールと私は信じている。

——和田秀樹

赤本を取り扱う全国の主要書店で販売

「センター赤本シリーズ」、「大学入試シリーズ」を取り扱う、全国の主要書店で販売します。

商品概要

【商品名】『赤本ノート（センター試験用）』、『赤本ノート（個別試験用）』

【仕様】179×252 ミリ、30 枚

【発行】教学社

【価格】本体各 250 円＋税

【発売予定日】2014 年 10 月 29 日

赤本について

「大学入試シリーズ」および「センター赤本シリーズ」の通称名。「大学入試シリーズ」は、大学・学部ごとに最新の入試問題を加えて毎年刊行しており、そのラインナップは 2015 年版で 374 大学 530 点に及びます。2014 年には創刊 60 周年を迎え、過去問の代名詞として、世代を問わず親しまれています。



会社概要

法人名：株式会社 世界思想社教学社

創 業：1948 年（昭和 23 年）

代表者：代表取締役社長 上原寿明

所在地：〒606-0031 京都市左京区岩倉南桑原町 56

事業内容：大学受験参考書・問題集を中心とする教育図書の出版および学術専門書・教養書の出版

本件に関するお問い合わせ

電話：075-721-6506（営業部）

e-mail：eigy@akahon.net